

ありがとう



令和8年9月30日
三木市立別所小学校

「人と人とのつながりを大切に」

学校長 藤田 司

田の上をやわらかに吹き渡る秋風に、今にも垂れそうな稲の穂が黄金の波をつくってゆらぐ風情は、まるで一幅の名画のようです。いよいよ10月。自然界は『実りの秋』を迎えます。万象が美しく実るためには、真夏の暑さや雨風の試練はまぬかれません。それを乗り越え、野も 山も、色美しく彩られていく自然界の様子に心ひかれる思いがします。別所小学校でも、4月から数えると、今の学年での活動も半分を迎えようとしています。これまで、仲間とともに、様々な課題に立ち向かってきた別所っ子も、元気にたくましく成長してきています。2学期がスタートして一ヶ月、実り多き10月を迎え、さらに目標に向かって取り組んでいる子どもたちの姿が頼もしく思えます。

さて、9月末からは、校外学習、自然学校、修学旅行と、校外での活動に多く取り組んでいきます。実際の体験をととして得る学びは、何物にも代えがたい貴重なものです。当日を前に各クラスで、計画やその準備を行う活動で、多くの意見交換が行われ、そこでの学びも素晴らしいものになっています。

そうした、人と人とのつながりや対話を大切に頑張ることは一人一人の自尊感情を高めることにもつながります。東北大学大学院教授(脳神経科学)の虫明元(むしあけはじめ)さんによると、幸福感や、やる気をもたらす神経伝達物質ドーパミンは、孤立・孤独を感じると 分泌が減り、それは自尊心の低下を招きやすいそうです。日常の会話の中で、自分について語ったり、それに対して他者から特別な承認をもらったりという対話を通して自尊心は育つということなのです。今後も、授業中に、多くの子どもたち同士の意見交換を大切にして、別所っ子の自尊心を大切にしていきたいと考えます。

人と人とのつながりという面では、9月16日(水)には、「別所キラキラアクション(昔遊び)」が行われました。当日は、10名を超える地域の方々の参加をいただきました。小学生や別所認定こども園の園児とともに、コマ回しやけん玉、福笑い、かるた、だるまおとし、あやとり、おりがみなどなど、多くの遊びで交流していただきました。コマ回しなどは、地域の高齢者の方が先生役となって、手本を見せてくださいました。子どもたちとの会話が弾み、楽しいひと時となりました。参加者からは、「6年生がリーダー役になって、低学年やこども園の子をよく見ていた」「準備がよくできていて、とても楽しめた」などの感想をいただきました。今後も、「別所キラキラアクション」として、イベントを行いますので、どうぞ、お気軽にご参加ください。



最後に10月23日(金)には親子人権学習・学級懇談会を予定しております。保護者の皆様には事前にご協力いただくことも多いのですが、親子で、ともに人権について学ぶ大切な時間ですので、当日も、よろしくお願いいたします。